



銘柄コード 7564

2014年3月期 第3四半期決算説明会



株式会社 ワークマン

2014年2月6日 開催

ご説明内容



- ・第3四半期決算の概要P3~P10
- ・2014年3月期決算の見通しP11~P13
- ・取組み状況P14~P19
- ・第3四半期決算の詳細P20~P24

第3四半期決算の概要

2014年3月期決算の見通し

取組み状況

第3四半期決算の詳細

決算の概要1

第3四半期累計期間 4月～12月



<単位:百万円、%>

	2013年3月期		2014年3月期	
	第3四半期累計期間		第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	49,803	+7.1	52,422	+5.3
(既存店売上高)	—	+4.7	—	+3.0
営業総収入	35,183	+4.1	36,945	+5.0
販売費及び一般管理費	5,920	△1.3	6,120	+3.4
営業利益	6,007	+13.7	6,458	+7.5
経常利益	6,781	+13.0	7,282	+7.4
特別損失	38	+130.4	4	△87.8
四半期純利益	3,792	+20.7	4,078	+7.5
1株当たり四半期純利益	185円88銭		199円87銭	

決算の概要2

第3四半期会計期間 10月～12月



<単位:百万円、%>

	2013年3月期		2014年3月期	
	第3四半期会計期間		第3四半期会計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	19,901	+9.4	21,240	+6.7
(既存店売上高)	—	+6.6	—	+4.3
営業総収入	13,933	+6.3	15,057	+8.1
販売費及び一般管理費	2,029	△1.9	2,120	+4.5
営業利益	2,802	+17.5	3,113	+11.1
経常利益	3,074	+16.6	3,443	+12.0
特別損失	5	—	—	—
四半期純利益	1,726	+29.1	1,934	+12.1
1株当たり四半期純利益	84円61銭		94円81銭	

第3四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 15店舗、スクラップ&ビルド(既存店舗の活性化) 1店舗
 - ・島根県、鳥取県に初出店し本州の全都府県へ進出
 - ・寒河江店(山形県)スクラップ&ビルド
- 2013年 12月末 725店舗 (2012年 12月末比 +23店舗)

店舗運営形態

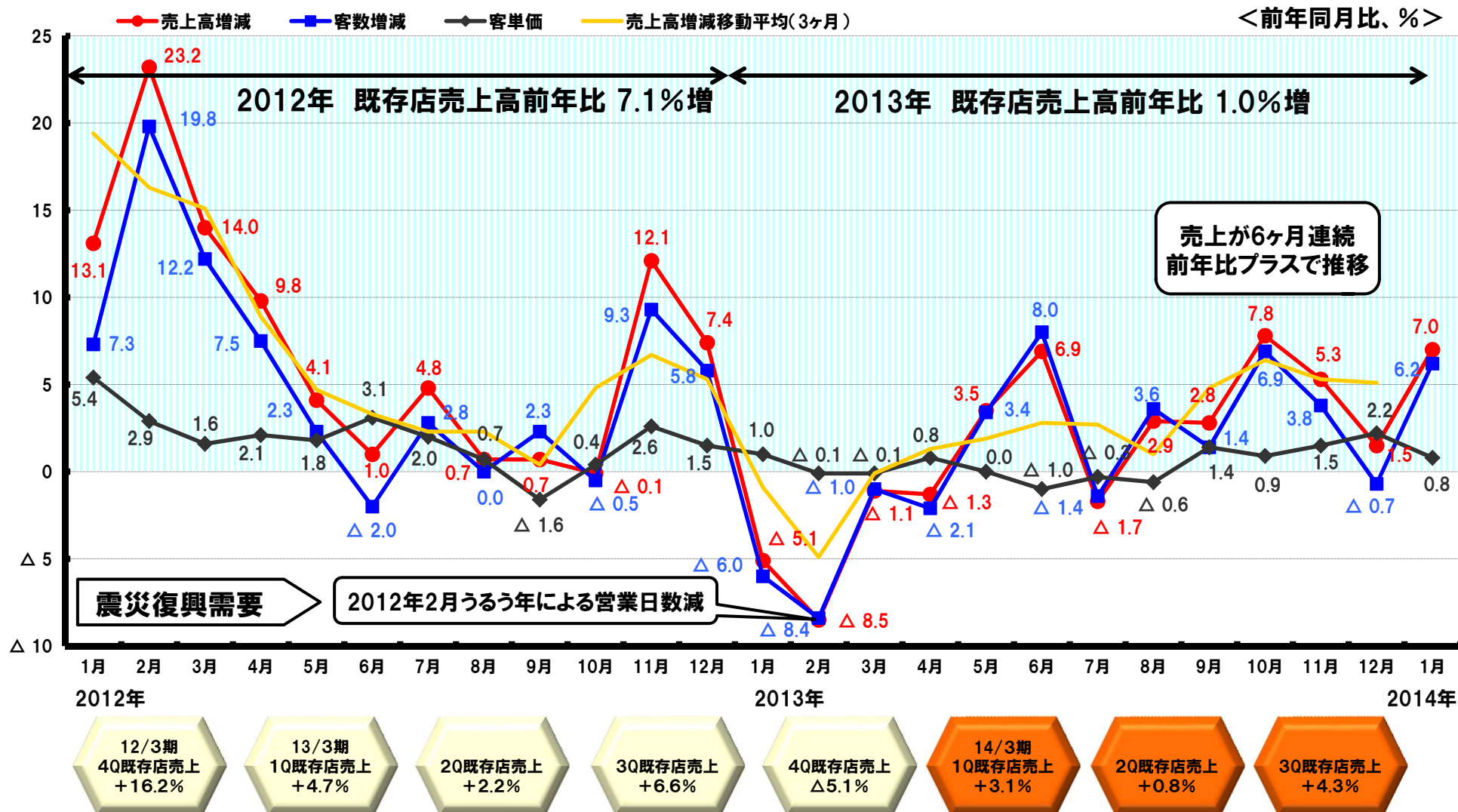
- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2013年 12月末 619店舗
(2013年 3月末比 +28店舗、2012年 12月末比 +28店舗)
- FC店舗比率 85.4%
(2013年 3月末比 +2.2ポイント、2012年 12月末比 +1.2ポイント)

販売強化

- 低価格政策の推進でエブリデー・ロー・プライス商品 256アイテムを新規導入
- 「重ね着」スタイルをコーディネート提案した売場づくりを実施
- 商品訴求型のテレビコマーシャル効果で知名度向上
- フランチャイズ・ストア荒利益率 35.3%(前年同期比△0.1ポイント)

月次推移と要因

■ 既存店売上客数客単価月次増減



販売状況 第3四半期累計期間 4月～12月



チェーン全店売上高 524億円

<前年同期増減率>

	チェーン全店	既存店	東日本エリア 既存店	西日本エリア 既存店
売上高	+5.3%	+3.0%	+1.8%	+4.5%
客数	+4.8%	+2.3%	+1.0%	+3.9%
1日当たり平均客数	—	118人(+2人)	—	—
客単価	2,360円	2,368円	2,409円	2,298円
	+0.5%	+0.7%	+0.8%	+0.6%
1品単価	845円	847円	847円	846円
1人当たり買上点数	2.8点	2.8点	2.8点	2.7点

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しております。

商品別売上高と要因

■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2013年3月期 第3四半期累計期間		2014年3月期 第3四半期累計期間		要因
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロン等	4,935	+8.2	5,098	+3.3	夏物は平年より高い気温の日が続き 「消臭抗菌、吸汗速乾、接触冷感」など 機能性の高い作業服や長袖Tシャツ、ハイネック の販売が好調。
カジュアルウェア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾン等	5,377	+7.1	5,573	+3.7	冬物は気温の低下とともに発熱インナーや防寒 ジャンパーの販売が伸長。
ワーキングウェア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・着衣料等	14,866	+8.0	15,455	+4.0	PBの「ピケストレッチパンツ」の販売が好調
履物 安全靴・安全スニーカー・地下足 袋・長靴・厨房シューズ等	10,076	+6.4	10,543	+4.6	局地的な大雨や台風の影響で長靴、合羽 などの雨関連商品の需要が高まる。
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ ヘルメット・マスク等	13,018	+6.8	14,173	+8.9	CM効果でPB「アクティブヤッケ」の販売が好調 雨と寒さに強い防水防寒ウェアの販売が好調
その他 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・不織布作業服等	1,529	+1.7	1,578	+3.2	不織布用品(使い捨てタイプのツナギ服、ヤッケ、 マスク等)の販売好調。
合計	49,803	+7.1	52,422	+5.3	

商品別売上構成



■チェーン全店商品別売上構成比前年同期比較

<単位:%>

		2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	2013年3月期 第3四半期 累計期間	2014年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期増減	2012年3月期	2013年3月期
衣 料	■ファミリー衣料	9.8	9.8	9.9	9.7	△0.2	9.9	9.9
	■カジュアルウエア	10.3	10.8	10.8	10.6	△0.2	10.1	10.1
	■ワーキングウエア	29.4	29.6	29.9	29.5	△0.4	28.5	29.0
用 品	■履物	20.4	20.4	20.2	20.1	△0.1	20.8	20.7
	■作業用品	26.3	26.2	26.1	27.1	+1.0	27.6	27.3
そ の 他	■白衣・ユニフォーム	3.8	3.2	3.1	3.0	△0.1	3.1	3.0
合計		100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0

第3四半期決算の概要

● **2014年3月期決算の見通し**

取組み状況

第3四半期決算の詳細

決算の見通し



<単位:百万円、%>

	2013年3月期		2014年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	63,858	+4.8	67,698	+6.0
(既存店売上高)	—	+2.4	—	+3.8
営業総収入	45,057	+2.5	47,691	+5.8
販売費及び一般管理費	7,811	△0.4	8,243	+5.5
営業利益	7,394	+7.4	8,001	+8.2
経常利益	8,433	+7.2	9,061	+7.4
特別損失	55	△26.5	81	+46.0
当期純利益	5,044	+14.6	5,390	+6.9
1株当たり当期純利益	247円26銭		264円20銭	
1株当たり配当金	75円00銭		75円00銭	

決算の見通しポイント

通期業績予想

■通期業績予想に対する進捗状況

	第2四半期	第3四半期
チェーン全店売上高	46.1%	77.4%
経常利益	42.4%	80.4%
当期純利益	39.8%	75.7%

- 経常利益 90億円 前期比 +7.4%
- 当期純利益 53億円 前期比 +6.9%
- 4期連続の増収増益で過去最高益達成へ

第3四半期決算の概要

2014年3月期決算の見通し

 **取組み状況**

第3四半期決算の詳細

出店進捗状況

人口の多い南関東、近畿エリアの出店拡大で客数増加を図る

2014年3月期計画

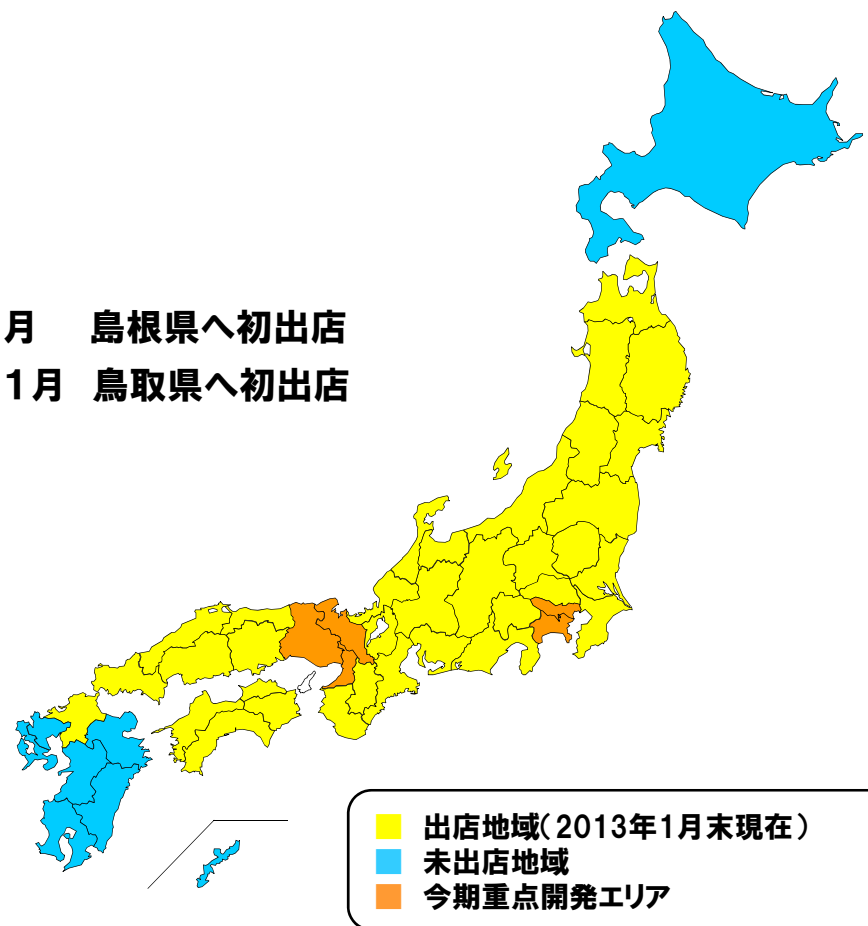
- ・開店 25店舗
- ・スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 2店舗
- ・期末店舗数 735店舗(前期末比 +25店舗)

出店状況

<店舗数>

地域	4月~1月 出店実績	通期計画
東北	1	1
関東	7	7
中部	1	3
近畿	2	5
中国	3	5
四国	1	2
九州	1	2
合計	16	25

- ・7月 島根県へ初出店
- ・11月 鳥取県へ初出店



フランチャイズ(FC)化の推進

個店売上の向上でフランチャイズ化を推進

2014年3月期計画

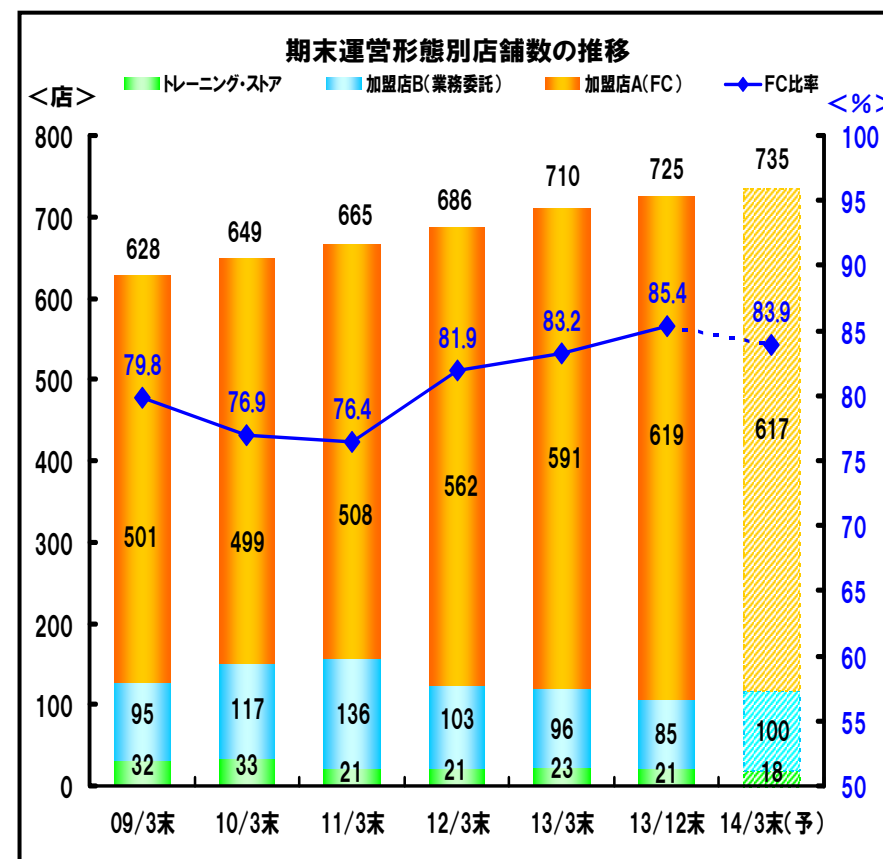
フランチャイズ・ストア(加盟店A契約) 617店舗(前期末比 +26店舗)

FC化状況

4月～12月の店舗運営形態の推移(開店含む)

	<店>		
	増加	減少	増減合計
加盟店A(FC)契約 (内B契約からの変更)	+42 (28)	△14	+28
加盟店B(業務委託)契約 (内A契約からの変更)	+19 (0)	△30	△11
トレーニング・ストア	+29	△31	△2

・4月～12月の9ヶ月間の既存店1店舗平均売上高が前年同期より212万円向上し、フランチャイズ・ストア化が進む。



エブリデー・ロー・プライス(EDLP)商品の推進

コア(核)商品の売場づくりでEDLP政策を更に強化

■ 2014年3月期計画

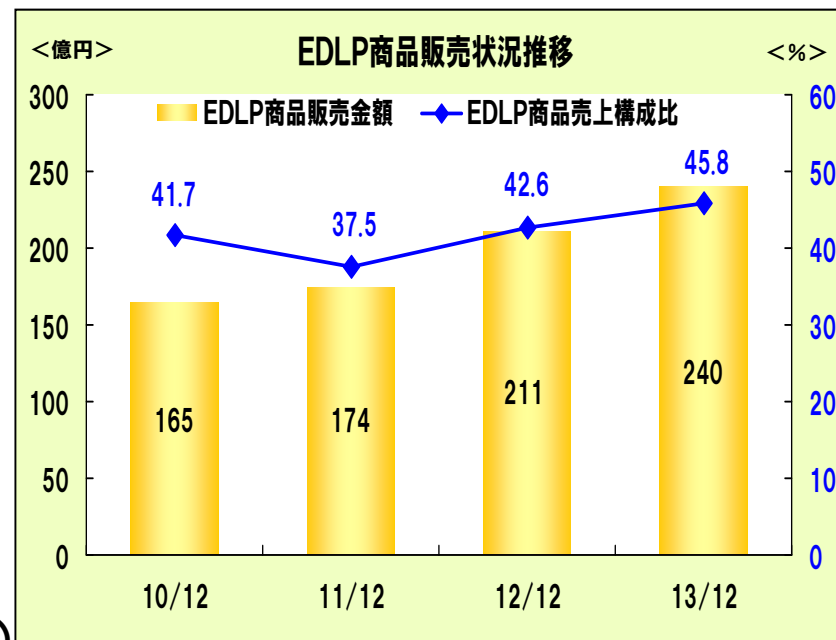
- ・新規導入 230アイテム計画
- ・EDLP商品合計売上高 306億円
- ・チェーン全店売上高に占める構成比 45.3%
(前期比 +3.2ポイント)

■ EDLP商品の開発状況

- ・2013年 12月末現在 256アイテム開発

■ EDLP商品の販売状況

- ・売上高 240億 26百万円 (前年比13.4%増)
- ・鳶龍シリーズ
防寒ジャンパー(1,580円)・インナー(1,900円)・パンツ(1,280円)
合計販売数 10万5千着
(販売数前年同期比 +26.1% +2万1千着)



エブリデー・ロー・プライス(EDLP)商品の推進



鳶龍シリーズの売場

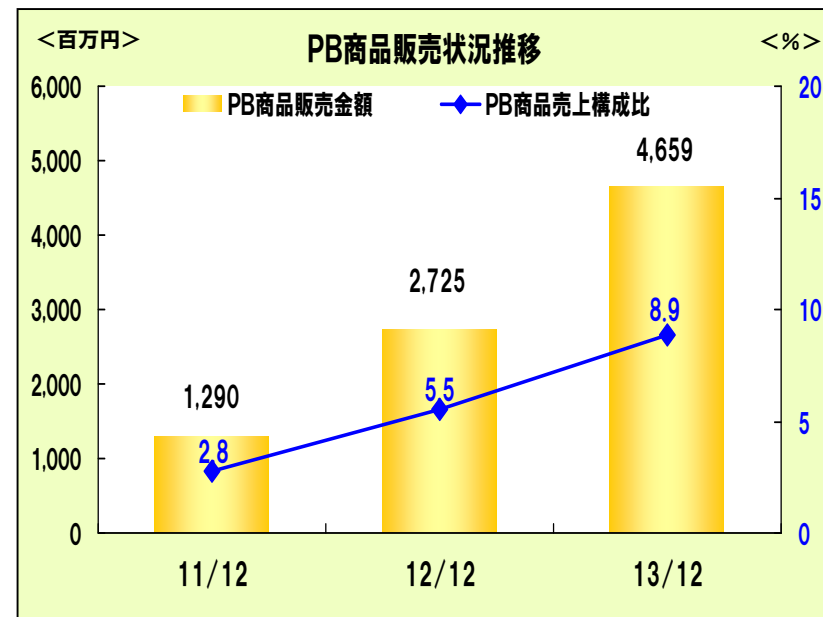
販促媒体と売場づくりを連動させてコア(核)商品をアピール

プライベート・ブランド(PB)商品の開発

PB商品の開発で他社との差別化を推進

■PB商品の開発

- ・2013年 12月末現在 170アイテムを展開
- ・PB商品売上高 46億 59百万円
(チェーン全店売上高に占める構成比 8.9%)
- ・機能性をアップした新規商品の開発で他社と差別化
- ・中期計画 PB構成比 20%
- ・PB「**WORKMAN BEST**」をテレビCMでアピール



ピケストレッチパンツ 1,900円



ナイロンヤッケアクティブ 580円

第3四半期決算の概要

2014年3月期決算の見通し

取組み状況

● 第3四半期決算の詳細

貸借対照表1

<単位:百万円>

資産の部	2013年 3月期末	2014年3月期 第3四半期末	増減	増減要因
流動資産	33,431	33,806	374	
現金及び預金	23,116	23,320	204	税引前四半期純利益72億77百万円 減価償却費5億3百万円 法人税等支払額△32億52百万円 配当金支払額△15億29百万円 有形・無形固定資産取得△26億14百万円
加盟店貸勘定	5,307	5,153	△154	対象店舗は前年と同数(554店舗→554店舗) 貸付金額が1店舗当たり約27万8千円減少
商品	3,863	4,158	294	流通センター在庫が5億17百万円増加(竜王10億43百万円増加、伊勢崎5億26百万円減少)、店舗在庫は直営店13店舗減少により2億19百万円減少、未着商品4百万円減少
固定資産	13,744	16,079	2,334	
有形固定資産	6,786	9,015	2,228	竜王流通センター取得価格
建物(純額)	2,102	3,739	1,637	建物15億96百万円 構築物2億88百万円
その他(純額)	1,718	2,309	591	車輻運搬具1百万円
構築物(純額)	592	828	236	工具・器具・備品2億49百万円
リース資産	789	924	134	6店舗で1億84百万円計上
無形固定資産	307	354	47	竜王流通センターのソフトウェア、販売管理のソフトウェア等で1億16百万円取得
投資その他の資産	6,650	6,709	59	
差入保証金	5,408	5,407	△1	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
その他	1,265	1,325	60	
長期前払費用	682	747	65	竜王流通センター、公共的施設負担金、整地費用で1億1百万円計上
資産合計	47,176	49,886	2,709	

貸借対照表2



<単位:百万円>

負債/純資産の部	2013年 3月期末	2014年3月期 第3四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	8,729	8,543	△186	
買掛金・加盟店買掛金	3,634	3,216	△418	3月期末仕入高41億97百万円 第3四半期末仕入高38億61百万円
未払法人税等	1,716	1,572	△143	
その他	1,992	2,376	384	
未払金	1,329	1,720	391	オープンアカウント勘定(加盟店に支払う分配金)3億6百万円増加
固定負債	2,655	3,003	348	
資産除去債務	592	804	212	竜王流通センター取り壊し費用1億99百万円計上
その他	946	1,073	127	
リース債務	864	1,003	139	6店舗で1億94百万円計上
負債合計	11,385	11,547	162	
株主資本	35,790	38,338	2,547	
純資産合計	35,791	38,338	2,547	自己資本比率76.9% 1ポイント増加
負債純資産合計	47,176	49,886	2,709	

損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2013年3月期 第3四半期累計期間		2014年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	9,178		9,933		+8.2	
加盟店からの収入	6,575		7,191		+9.4	加盟店期中平均店舗数 当第3四半期 611店舗、前第3四半期 573店舗 38店舗増 加盟店売上高 当第3四半期 473億69百万円、前第3四半期 442億 11百万円 7.1%増 荒利率 当第3四半期35.3%、前第3四半期35.4% 0.1ポイント減
その他の営業収入	2,602		2,742		+5.4	国内メーカーからの仕入高(直買仕入を除いた)前年比2.9%増 業務受託収入1億66百万円増加 賃貸料収入21百万円減少
売上高	26,005		27,011		+3.9	
直営店売上高	5,592	(100.0)	5,053	(100.0)	△9.6	直営店期中平均店舗数107店舗(16店舗減)
加盟店向け商品供給売上高	20,412		21,958		+7.6	加盟店売上高前年同期比7.1%増
営業総収入	35,183	100.0	36,945	100.0	+5.0	
直営店売上原価	2,843	8.1	2,407	6.5	△15.3	
加盟店向け商品供給売上原価	20,412	58.0	21,958	59.5	+7.6	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	23,255	66.1	24,366	66.0	+4.8	

損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2013年3月期 第3四半期累計期間		2014年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(2,749)	(49.2)	(2,645)	(52.4)	△3.8	仕入割戻しと直買取引の増加で仕入コストの減少
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	11,927	33.9	12,579	34.0	+5.5	
販売費及び一般管理費	5,920	16.8	6,120	16.6	+3.4	増減要因 人件費 約76百万円増加 流通センター運営費用 約76百万円増加 竜王流通センター開設費用 約1億80百万円増加 旅費交通費・減価償却費等 約1億69百万円増加 販売費 約1億31百万円減少 直営店舗期中平均16店舗減 約1億60百万円減少 事務費等 約10百万円減少
営業利益	6,007	17.1	6,458	17.5	+7.5	
営業外収益	808	2.3	860	2.3	+6.4	
営業外費用	35	0.1	37	0.1	+4.9	
経常利益	6,781	19.3	7,282	19.7	+7.4	
特別損失	38	0.1	4	-	△87.8	減損損失 営業不振店2店舗、返却店2店舗、 遊休店1店舗で約4百万円
四半期純利益	3,792	10.8	4,078	11.0	+7.5	

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564 (JASDAQ)

お問い合わせ先: 経営企画部IR室

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>